

授業科目 臨床神経学（前期）

【担当教員名】 今村 徹	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	前後期	必修・選択	必修
	単位数	前後期通算2単位	時間数	前期15後期30

【＜概要＞】
本科目の前期開講分の授業内容は神経科学（Neuroscience）である。神経科学は神経系の正常機能・構造の理解に裏付けられた論理的な思考によって、神経系を障害する疾患の基礎を理解することを目的とし、後期開講分の『臨床神経学』を準備する内容と位置付けられる。授業では、1年次で学習した内容を含む生理学・解剖学の知識・理論と神経疾患の理解が密接に結びついた領域を題材とする。1日の授業の中で、①神経生理学・神経解剖学、②実際の臨床場面で用いられる診察・検査法、③代表的な疾患の理解、にいたるまでを一連の流れとして学ぶ。授業中の演習課題とともに、予習項目と復習課題を授業ごとに指示する。

【＜学習目標＞】
神経疾患を逐次的に暗記することよりも、神経科学の考え方を理解することが目的である。

回数	授業計画又は学習の主題		学習方法・学習課題又は備考
	末梢神経系	以下の3つの主題について計7回の授業を行う。 具体的な日程は改めて通知する。 下位運動ニューロンと末梢神経の解剖学・生理学 神経伝導速度検査 末梢神経疾患・神経筋接合部疾患	担当教員：今村 徹 学生を被検者とする神経伝導速度検査の演習を含む
	脊髄	上位運動ニューロン、体性感覚系と脊髄の解剖学・生理学 神経学的診察脊髄疾患 脊髄疾患	学生同士を対象とする筋伸張反射診察の演習を含む
	脳	頭蓋内中枢神経系の解剖学 頭部MRI画像検査	頭部MRI画像正常像読影の演習を含む

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	簡要神経学	岩田誠, 岩田淳訳	MEDS1	2000年. 3800円. ISBN : 4-89592-249-9
	ベッドサイドの神経の診かた	田崎義明, 斎藤佳雄	南山堂	1994年. 7200円. ISBN : 4-525-24715-0
参考書				
その他の資料	適宜配布する			

【評価方法】 前期および後期の定期試験による。（定期試験の受験許可は授業中の課題と予習課題、復習課題の理解、提出を前提とする）	【履修上の留意点】 言語聴覚学科『神経系の機能・構造・病態』，作業療法学科『神経内科学Ⅰ』と同一の授業内容である。
--	--